

## 令和4年度 長野看護専門学校学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和5年4月27日(木)14:00～15:10

場 所 長野看護専門学校 4階学習室2

出席者:委員 15名の内 12名の委員が出席 1/2の出席にて会議成立

【外部委員】6名中3名欠(欠席の3名からは文書にて意見をいただいた)

小林 美和子 国立病院機構東長野病院 看護部長代理

小林 雅裕 長野市保健福祉部参事 兼医療連携推進課 課長

竹村 日出徳 保護者代表

【教職員】宮澤学校長以下 8名

### 1. 学校長あいさつ(宮澤学校長)

学生が質の高い教育が受けられるようにご協力をお願いします。

### 2. 委員長指名

学校長より、長野市保健福祉部参事 兼医療連携推進課 課長 小林雅裕様を指名

### 3. 自己紹介

### 4. 会議事項 (進行:小林委員長)

#### 1) 当校の概況について

堀内副学校長より、パワーポイントの資料に沿って、当校の概況について報告する。

3学科における在校生の状況、卒業率、看護師国家試験・准看護師資格試験合格率、卒業後の就職率について

#### 【質疑応答】

Q. 留年・退学者が多くなっている理由は、どんなものがあるのか？

A. 学力の不足している学生や学習習慣がついてない学生に留年・退学者が多い。

Q. 卒業できず、退学しているのはなぜか？家庭的なものはあるのか？

A. 学費の負担が大きい学生もいて、退学を選択することがある。

意見 教員不足という点で、実習指導に来る教員が不在の時があることについて理解ができた。担当師長や指導者に伝えていこうと思う。

意見 他の専門学校の様子を聞くと、やはり退学者も多くいると聞く。基礎学力を付けて看護学校に入学してくれば良いが難しい学生もいるのでは。学力がなくても、看護師になって、人柄がとても良いという看護師も多くいる。看護師を育てることに大変苦慮していることは理解できる。

#### 2) 令和4年度学校自己評価について(資料)

資料用い、堀内副学校長より説明する。

#### 【質疑応答】

Q. 学校評価について、昨年と変化している所はあるのか？また、どのように評価するのか？

A. 教職員一人ひとりが評価し、平均値で出している。昨年と比較するが、0.1の増減程度であるため、あまり変化がないと認識している。しかし、保護者アンケートの結果から、「教育理念を知らない」、「学校で何をしているかわからない」など、厳しい意見を頂き、その結果を教員が評価する際、参考にしており、評価が低くなっていることが考えられる。

Q. VI.「教育環境」の評価が2.7、X.「社会貢献・地域貢献」の評価が2.8とやや不適切という評価になっているが、考えられることは？学校が存在すること自体が社会貢献になるのではないか。

A. コロナ禍において、今まで教室でグループワーク等行っていたが、密になるため広い教室をと望んでも限りがある。難しい状況で十分に対応できていないことが低評価につながっているのではないかと考える。また、防災危機管理として、BCPの作成が具体的にない状態であるため、検討が必要。

ボランティア活動について、コロナ禍により、積極的に参加が難しく、実習に支障が出てしまうことも懸念された。働きながらの学習者もおり参加は難しい。しかし、学校が存在するだけで社会貢献と言っただけのことは、今までそのように考えていなかったので大変ありがたい。

Q. VII.「学生受入れ」について、この学校の特色、魅力を伝えきれていないのではないかと？

A. コロナ禍で高校訪問などあまりできていない状況にあるが、県医師会によるCMや学費のこと、働きながら学修ができる等、高校の進路指導の先生方には伝えている。長野市やハローワークなどで、受験をすすめて頂いているとも聞いている。とてもありがたい。募集の仕方や学校を知っていただく方法を検討していきたい。

Q. 先ほどの学校の概要で受験者がV字に回復していた時期があったと思うが？

A. 第1看護学科では、入試時期の変更を行っている。入試のタイミングによって増加したのではないかと考えられるが、その後の減少は、18歳人口の減少も影響しているのではないかと考えられる。信州上田医療センター附属看護専門学校の募集停止や長野赤十字看護専門学校の廃校でもう少し応募者の増加が見込めるかと考えていたが、それほど変化は感じられなかった。

意見 専門学校ならではの3年で看護師の資格が取得できること、大学よりも学費がかからないこと、長野市にあり自宅から通学できること等、メリットは多くあるはず。長野看護専門学校にしかない学校の魅力をもっと伝えられたらと思う。

3) その他  
特になし

5. 閉 会

令和4年度 学校自己評価に係る意見照会(学校関係者評価委員会・欠席者分)

【外部委員】

|        |                |
|--------|----------------|
| 吉澤 美智子 | 長野県看護協会長野支部 会長 |
| 武田 晴男  | 芹田地区住民自治協議会 会長 |
| 長谷川 純  | 長野看護専門学校同窓会 会長 |

I.教育理念・目標

・メールやホームページで一時的に見る機会はあると思うが、常に見るわけではないので人目につくような場所に掲示しても良いのではないかと。

## II.学校運営

- ・看護の楽しさ、やりがいは実際に経験してみないと分からないと思う。一人でも多く看護に触れられるよう学生の確保は大事だと思う。
- ・定員割れし、入学者が減少し厳しい状況であると聞いている。長野看護専門学校の特色、特徴、売りは何か、学生にアプローチできればいいのではないかと思う。休学や退学など学校運営は非常に厳しく、大変なご苦労があり、頭が下がる思いだ。

## III.教育活動

- ・新カリキュラム授業の評価に関しては、今後評価し、結果が楽しみである。コロナが5類へ移行し、実習も実施できるようになり、実習場所も活気づくと思う。患者さんとのコミュニケーションもとれるようになると、やりがいも感じていくのではないか。

## IV.学修成果

- ・卒業生の県内への就職率が高いことは、受入れる側としても非常に喜ばしいことだ。退学者や留年者が増加している中、やはり個別面談や相談しやすい環境が必要と感じる。

## V.学生支援

- ・家庭環境によって違いはあると思うが、経済面で支援してもらえることは大きなこと。相談しづらいことでもあるので、いつでも相談できる環境作りは大事だと思う。

## VI.教育環境

- ・様々工夫し、教育環境を整えていることを知った。今後も社会的ニーズ・学生のニーズに沿って環境面を整えてほしい。

## VII.学生の受け入れ募集

- ・高校も東北信だけでなく、全域に広げていっても良いと思う(残りの中信、南信)。知ることで進路の選択の幅が広がるのではないか。
- ・定員数の確保は重要。選考基準は下げず、適性のある人材を受け入れてほしい。

## IX.法令等の遵守

- ・個人情報の保護の必要性を理解し、SNS などによる問題に関しても対策が必要と思う。

## X.社会貢献・地域貢献

- ・当、住民自治協議会においてもこの3年間は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、集会・イベントはやむを得ず中止、縮小となり、事業に支障が生じている。今年度についてはコロナ前に戻るべく、様々なイベント活動をしたいと思っており、その際には貴校にもご案内をするので、ご支援ご協力をお願いします。
- ・活動は継続してほしい。